

ストーリーテリングをたのしもう！

資料 4

小・学生
むけ

夏の

7/18 (金)
14:00~14:30

ちょっぴり

こわ~いおはなし会

暑い夏の日、こわいおはなしで
涼みませんか？

ゆきおんな

ほか

中央図書館 2階AVルーム
申し込みはいりません！！

お問い合わせ先

長久手市中央図書館

☎ 0561-63-8006



HPでも
イベントの
お知らせを
ご覧いただけます



<https://library.city.nagakute.lg.jp/>

夏休みは
じどうかん
児童館に
ゴー ゴー
GO! GO!

夏休み ブックトークの会

かく
各学校図書館で活動している司書が、今年の夏休みは
じどうかん
児童館におじゃましてブックトーク（本のしょうかい）をします。



西児童館

7月30日(水) 10:00-

上郷児童館

8月 1日(金) 13:30-

北児童館

7月30日(水) 13:30-

市が洞児童館

8月 5日(火) 10:00-

青少年児童
センター

8月 1日(金) 10:00-

南児童館

8月 5日(火) 13:30-



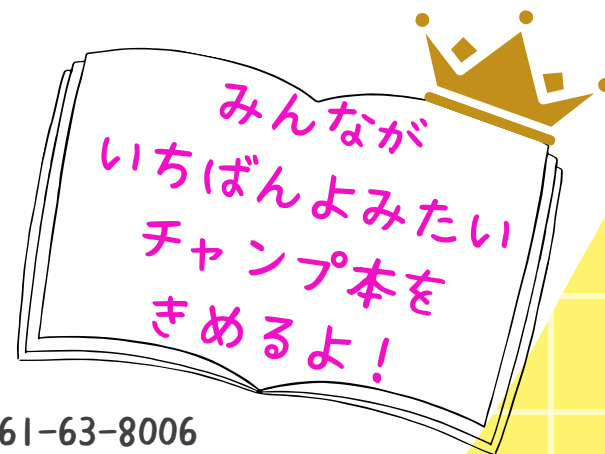
※ 30分くらいお話しします
もうしこみはいりません!

対象

小学生

お問い合わせ

長久手市中央図書館 TEL 0561-63-8006



より魅力的な、

文化の家・中央図書館・松ヶ根公園 エリアについて考えてみませんか？

都市計画マスタープランにおいて、「文化交流拠点」として位置づけられる、文化の家、中央図書館、松ヶ根公園エリアを、一体的で、より魅力的なエリアとするためにワークショップを開催します。



◆開催場所

中央図書館2階 AVルーム

◆開催日時

★全3回 各回90分程度★

第1回 令和7年7月12日（土） 午後1時30分から

第2回 令和7年7月21日（月・祝） 午前10時から

第3回 令和7年8月2日（土） 午前10時から

◆オブザーバー

○肩書

日本福祉大学 国際学部 国際学科 教授

○紹介

専門は、参加型まちづくり、まちづくりファシリテーション、地域マネジメント、福祉社会開発、国際開発。東京工業大学工学部社会工学科卒業・同大学院博士後期課程修了、博士（工学）。国際連合地域開発センター（UNCRD）研究員を経て、2006年4月より日本福祉大学へ、2013年より現職。共生社会を見据えて、対話や交流の「場」と「縁」のデザインとマネジメントを通じたコミュニティづくり、プレイスメイキングやエリアマネジメント等を通じた創発的まちづくりや地域マネジメントに関心を持つ。長久手市、東海市、知多市、安城市、名古屋市他で、動きを作っていく実践的な取り組みや研究活動を行う。最近は、「地域福祉」と「地域づくり」を架橋するプロジェクトにも関わる。



吉村 輝彦氏

◆対象・定員

どなたでも 各回約20名

◆申込方法・問い合わせ先

QRコードより参加申し込みをお願いします。

長久手市役所 都市計画課（担当：日比野） TEL：0561-56-0622



申込



市HP

学校連携司書の取り組み結果 R6年度

長 中

1年オリエンテーション資料協力（実施は国語科教諭）

年6回 新刊本コーナー展示を実施

支援学級が図書室利用時、読み聞かせ・ストーリーテリングを実施

南 中

日頃からYA向け図書のチェックを行い、読みたいと思わせる選書を心掛けた

新刊が入るたびに「新刊本紹介」を写真入りで作成し、掲示した

学級へ図書室の本を貸出、学期ごとに入れ替えをした

北 中

おすすめ本コーナーをこまめに変更し、多くの本が生徒の目に入るように心掛けた

季節のイベントを実施し、普段図書室に来ない生徒への来室を促した

棚見出しを作り直し、利用者のアクセスが良くなった

西 小

- R6年度 図書室改修工事が行われた。司書教諭と相談・協力し、引っ越し準備を行った
- 長期閉館となり、先に各学年の要望を伺い、使いやすいよう図書を準備した
- 改装後、教科書に合わせ9類の図書を著者順に並べ替えを行った
- 書架のサインを更新・館内の装飾も行い、明るい雰囲気になった
- 1年図書室利用時に「チャレンジ読書」を実践。司書選書の良書に多く触れることで、読む力の向上を図った
- 1年図書室利用時に「昔話クイズ」を行い、昔話に親しむきっかけづくりを行った
- 6年卒業時、貸出カードに手作りのメッセージカードをプレゼントして喜ばれた



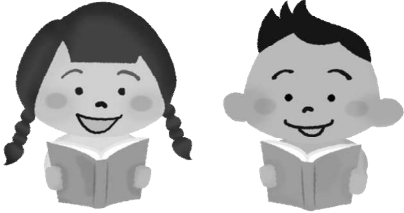
改装前



改装後

※チャレンジ読書：100冊の課題本を用意して、読書をする。

※昔話クイズ：昔話を読むと答えがわかるクイズを1冊ずつに設定している。

長 小	市 小
授業支援の一例： 4年「伝統工芸のみりよくを伝えよう」 実物を見せ、現代にも使える伝統工芸の工夫を紹介	掲示物を季節ごとに変えた
2年授業利用時に幼年童話を10冊読破する取り組みを実施	月刊誌の特集に合わせ、テーマ展示を展開 （「むかしのお金」「アンモナイト」など）
冬休み貸出時に本の福袋を作成 （図書委員選書協力）	高学年にも読み聞かせを実施
卒業祝ストーリーテリングお話を実施	各学年「課題図書」「教科書関連本」の紹介を実施
南 小	東 小
定期購読している図書館新聞の特集に合わせて、 関連本を廊下に展示	1～6年の調べ学習の資料準備を行った 特に、3年の長久手市について学ぶ単元では郷土資料 の準備に力を入れた（ザイおどりなどお祭りの資料）
低学年図書室には「じっけんラボ」を設置 飼育や観察の本を置き、調べものを支援	
1～3年は「チャレンジ読書」を実施 （年間80～100冊を読破目標） 司書が選書し、活動をサポートした	授業の進度を伺い、関連資料を該当学年の廊下へ展示
6年国語で学習するブックトークの実演	司書のおすすめコメントを本につけ、校内数か所に 展示
北 小	全体での取り組み
季節感のある掲示やイベントを実施 （おみくじ・季節の折り紙や切り紙の飾り）	今年度、学校連携司書主導で初めて蔵書点検を実施、 資料の現状把握に努めた
1・2年オリエンテーションで電子黒板を使用 わかりやすい資料を作成	教科書に合わせ、文学の棚を著者順に並べ替えた
2年「ふたりはともだち」掲載の単元で、 パネルシアターを実演	「読書感想文課題本」「読書感想画課題本」 「教科書掲載本・関連本」の紹介・提案を行った
教科書掲載本の紹介や読み聞かせを実施	学校間で資料の貸借を行い、有効に活用した
	各小学校へ中央館より学級文庫を貸出、 修理・クリーニングなどメンテナンスも行った
	図書室担当先生と協力し、図書委員会の活動を サポート

事業総点検の中間報告

問 企画政策課 ☎ 56-0600

本市では、限られた財源の中で将来にわたって持続可能な市政をめざし、事業総点検を行っています。これまで良好な住環境づくりや緑の保全、コミュニティの充実などに力を入れ、健全な財政運営を続けてきましたが、物価高騰や扶助費・修繕費の増加、ふるさと納税による税収減少などにより、財政は大きな転換期を迎えています。そこで今後のまちの将来を見据え、各事業の見直しを行っています。

事業総点検の目的

- 既存事業が今の社会情勢や市民ニーズに合っているかの検証
- 健全な財政運営を行うための財源確保
- 新たな事業に取り組むための創造的な時間の確保

2026年度に向けたおもな検討状況

第6次総合計画の基本目標に沿って、「市長公約」「必要性」「有効性」「効率性」「公平性」「歳入確保」の6つの視点で点検を行っています。特定の分野に偏ることなく、すべての分野を対象とし、全338事業を対象にそれぞれの分野に応じた見直しを行いました。

基本目標

見直しの一例

基本目標1 人づくり

「やってみたい」で
つながるまち

「スマイルポイント事業」について、事業開始当初の目的をおおむね達成したことから廃止を検討します。

基本目標2 子ども

子どもが元気に育つまち

「高等学校等入学支援金」について、高校生を対象とした国の授業料支援制度の拡充に伴い廃止を検討します。

基本目標3 自然環境

みんなで未来へつなぐ
緑はまちの宝物

「住宅用地球温暖化対策設備導入促進費補助金」について、受益者負担の観点から内容の見直しを行います。

基本目標4 生活

誰もがいきいきと
安心して暮らせるまち

「高齢者外出促進事業」について、今後の高齢者人口の増加による財政負担を考えると事業継続が難しいため廃止を検討します。

基本目標5 交流

いつでもどこでも誰とでも
広がる交流の輪

「文化の家管理事業」について、施設管理の内容を見直すことで委託費の削減を図ります。

基本目標6 都市経営

あえて歩いてみたくなる
まち

街路樹や緑道の維持管理水準を見直すことで委託費の削減を図ります。

基本目標7 市政運営

市民から信頼される
市政の運営

「庁舎清掃業務の委託内容」や「職員駐車場の使用料」および「ケーブルテレビの番組構成」の見直しを行います。

事業総点検は2026年度の予算編成に向け、さらなる検討を進めていきます。
今後も広報や市HPで進捗状況を公表しながら進めていきます。

詳細は市HPへ。



公演・ワークショップ

8月23日(土) 14:30～

音楽付きおはなし会
走れメロス

料金：無料（要申込）

対象：小学5年生以上推奨（大人のみも可）

出演：文化の家創造スタッフ（屑屋 あず、伊藤 天音、内田 一晟）

朗読に即興演奏をつけた人気シリーズ。
あの名シーンを臨場感あふれる音楽
とともに体感してください。



8月26日(火) ①10:00～ ②14:00～

製本ワークショップ
糸綴じの自由帳を作ろう

料金：1,000 円（当日支払い、要申込、各回定員 6 名）

対象：小学5年生～大人

講師：中川 京子（製本作家）

2時間ほどかけて、一からの本格的
な製本を体験できます。作った自由
帳はお持ち帰りいただけます。



※写真はイメージです。実物とは異なります。

8月28日(木) 10:00～

小学5年生～中学生限定
はじめての小説を書いてみよう

料金：無料（要申込、定員 12 名）

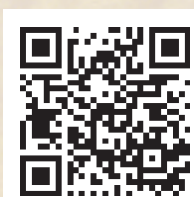
対象：小学5年生～中学生

講師：高木 暲吾（文化の家創造スタッフ）

人生ではじめての創作体験。一つの
物語を作って、頭の中にある世界を
言葉にしてみよう。



すべてのイベントは中央図書館 AV ルームで実施します。
事前の申込が必要なイベントは 7 月 1 日 (火) から、QR コード
先のフォームにてお申し込みください。
※窓口・お電話での申込みは受け付けておりません。
※空きがある場合のみ、当日会場での参加も受付いたします。



ひらめきの図書館 ～本とアートが出会ったら～

2025 年 8 月 16 日(土)～31 日(日)

9 時～17 時 ※月曜休館

長久手市中央図書館 2 階ギャラリー

本とアートが会うとき、そこには新しい「ひらめき」が生まれます。
中央図書館と文化の家が共同で送る初のプロジェクト。2 週間にわたって、
図書館とアートが融合した特別な体験をお届けします。

新たな本と出会う常設展のほか、製本ワークショップや、はじめての
小説を書いてみる体験会など、多数のイベントを開催。

本からはじまる創作活動を通じて、新しい発見をしてみませんか？
この夏、長久手に「ひらめき」があふれます。

常設展

アーティストの本棚
みんなの一箱本棚

長久手×アートの棚
ひらめきの棚

お問合せ 長久手市文化の家 0561-61-3411 長久手市中央図書館 0561-63-8006

主催 長久手市、長久手市教育委員会

イベント

※各イベントの開催場所と申込方法は表面の裏をご覧ください。

7月26日(土) 13:00～

私だけの一箱本棚をつくろう！

料金：無料（要申込、定員 12 名）

対象：どなたでも。グループで 1 つでも OK（代表者のみお申込みください）

図書館の本から好きな本を選んで、自分だけの一箱本棚を作ります。作った本棚は会期中に展示します。 ※棚はこちらで用意します。

講演会

8月17日(日) 13:00～

吉成信夫 × 土肥潤也 対談イベント

にぎわいが生まれるコミュニティづくり ～これからの文化拠点の可能性～

料金：無料（要申込） 対象：まちづくり、図書館、文化施設などに興味のある人

「ぎふメディアコスモス」元総合プロデューサーの吉成信夫さんと、「みんなの図書館さんかく」で全国的に有名になった土肥潤也さんによる夢の対談。コミュニティづくりの最前線にいるお二人のお話をもとに、日本一若いまち長久手らしい、にぎわいとひらめきであふれる文化拠点のあり方について考えます。



吉成 信夫

39歳の時、家族と岩手に移住。「石と賢治のミュージアム」研究専門員を経て、環境教育施設「森と風のがっこう」を立ち上げる。その後、岩手県立児童館いわて子どもの森の初代館長、岐阜市立図書館長等を歴任。現在は、明石市本のまちづくり推進アドバイザー、中部学院大学兼短期大学部客員教授など。本のひみつ基地（無印良品柳ヶ瀬店）を運営しながら、各地の文化的空間づくりに関わっている。著書に『賑わいを創出する図書館 開館9ヶ月半で来場者100万人を突破した「みんなの森ぎふメディアコスモス」の冒険』（KADOKAWA）など。岐阜市在住。
好きなものは、子ども、ムーミン、カフェ。



土肥 潤也

1995年、静岡県焼津市生まれ。早稲田大学院修士課程修了（社会科学）。NPO 法人わかものまち、一般社団法人トリナス、株式会社C&Y パートナーズ代表。焼津駅前通り商店街をの空き店舗を活用し、私設図書館「みんなの図書館さんかく」、私設公民館「みんなの公民館まる」を開館するなど、商店街の活性化に取り組む。一箱本棚オーナー制度を導入した市民参画の仕組み「みんなとよ」は全国100館以上に広がり、朝日新聞天声人語、日経新聞1面、日経トレンディ、NHK などにも取り上げられる。マニフェスト大賞優秀賞、第14 回日本まちづくり大賞、Library of the Year 2023 大賞、Forbes 30 Under 30（世界を変える30 歳未満30 人）を受賞。著書に『わたしのコミュニティスペースのつくりかた』など。

8月31日(日) 14:00～

三宅香帆 トークイベント

言葉にならない好きを言葉にする

料金：無料（要申込） 対象：どなたでも

『なぜ働いていると本が読めなくなるのか』でベストセラー作家となった今一番話題の文芸評論家、三宅香帆さんによるトークイベントです。三宅さんの著書『「好き」を言語化する技術』にちなんで、自分の「好き」に向き合うための時間を作りました。「好き」を言葉にすることで、もしかしたら自分のことも好きになれるかもしれません。日常にある「好き」が見えるようになるヒントを探しに来てください。



三宅 香帆

文芸評論家。京都市立芸術大学非常勤講師。1994 年高知県生まれ。京都大学人間・環境学研究科博士後期課程中退。リクルート社を経て独立。主に文芸評論、社会批評などの分野で幅広く活動。著書『なぜ働いていると本が読めなくなるのか』『「好き」を言語化する技術』等多数。

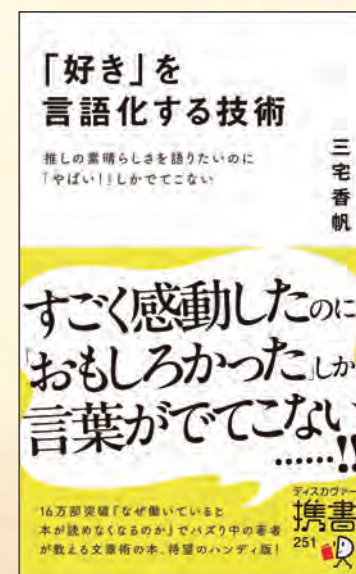
同時開催「働いていて本が読めない人のための読書会」

8月31日(日) 9時～12時（申込不要）

講演会前に、三宅さんの本を読みたい人のための時間を作ります。

最初の2 時間は各自で『「好き」を言語化する技術』を読み、最後 1 時間でその場にいる人同士で読書会を行います。本はご自身でご購入の上ご持参ください。途中参加可、すでに本を読み終わっている人のご参加も歓迎します。

※読書会とは、..... 集まった人同士で本の感想などをシェアする会です。



三宅香帆『「好き」を言語化する技術』ディスカヴァー・トゥエンティワン



三宅香帆『なぜ働いていると本が読めなくなるのか』集英社